

KDDI Flex Remote Access

**iOS 版 Cisco AnyConnect**  
**Legacy AnyConnect からの移行方法**  
**(ご利用者さま向け)**

第 1.2 版

2019 年 9 月

KDDI 株式会社

はじめに.....	1
1 概要 .....	2
1.1 iOS 版 Cisco AnyConnect について.....	2
1.2 移行方法の分類.....	2
2 証明書をご利用されていないお客さまの移行手順 .....	3
2.1 移行手順概要 .....	3
2.2 移行手順詳細 .....	4
3 証明書をご利用しているお客さま / 証明書を新規でインストールされる場合の移行手順 .....	9
3.1 移行手順概要 .....	9
3.2 移行手順詳細 .....	10
4 証明書をご利用しているお客さま / 構成プロファイルを上書きする場合の移行手順 .....	22
4.1 移行手順概要 .....	22
4.2 移行手順詳細 .....	23

## はじめに

※本資料に記載されている内容に関しましては、KDDI 株式会社の都合により変更することがある旨をご了承ください。

※本資料は「KDDI Flex Remote Access」(以下「KDDI FRE」)を iOS デバイスにてご利用いただいているお客さま(ご利用者さま)向けに Cisco Legacy AnyConnect から Cisco AnyConnect への移行する際の手順を記したものです。移行する際は本資料を必ずお読みくださいますようお願いを申し上げます。(管理者さまは、別途『Cisco AnyConnect のご利用と移行について』もご参照ください。)

※免責事項・注意事項をご承諾いただけない場合、本機能のご利用はお控えください。

※本資料の一部または全部を「KDDI FRE」の利用者もしくは運用者以外に対して開示・配布・譲渡すること、「KDDI FRE」以外の利用目的にて用いることを禁じます。

※本資料は、「KDDI FRE」において『Cisco Legacy AnyConnect』から『Cisco AnyConnect』へ移行する上で最低限の事項のみ記述しております。KDDI は本資料の作成に当たり、サービス提供上問題が発生しないよう、細心の注意を払っておりますが、この資料に記載された内容に準拠した手順にて利用された場合においても、端末の機種や OS のバージョンにより証明書をインストールできない可能性があります。その場合は KDDI 法人営業担当者までお問い合わせください。

※設定方法・仕様などは、KDDI の都合により、予告なしに変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。なお、問題点・変更点などを発見した場合は、お手数ですが KDDI 法人営業担当者までお気付きの点をご連絡ください。今後の資料作成に反映させていただきます。

※「KDDI FRE」では、証明書の発行をサイバートラスト株式会社へ委託しており、サイバートラスト株式会社の『サイバートラスト デバイス ID』を使用します。

※本資料内の画面および証明書ダウンロード用 URL は実際とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 1 概要

## 1.1 iOS 版 Cisco AnyConnect について

2018年7月現在、Cisco社はApp Storeにて以下2つのAnyConnectアプリケーションを提供しております。

<b>Cisco Legacy AnyConnect</b> Ver.4.0.05072		旧来のAnyConnectから名称を変更 (従来の「KDDI FRE」で利用)	iOS6～11
<b>Cisco AnyConnect</b> Ver.4.0.07077～		新しいAnyConnect	iOS10以降/ iPadOS13以降

本書では、現在『Cisco Legacy AnyConnect』を利用して「KDDI FRE」へ接続しているお客さまへ『Cisco Legacy AnyConnect』から『Cisco AnyConnect』へ移行する手順をご案内いたします。

なお、移行する時期および、移行方法の詳細については貴社システム管理者さま(以後、管理者さま)へご確認をお願いいたします。

## 1.2 移行方法の分類

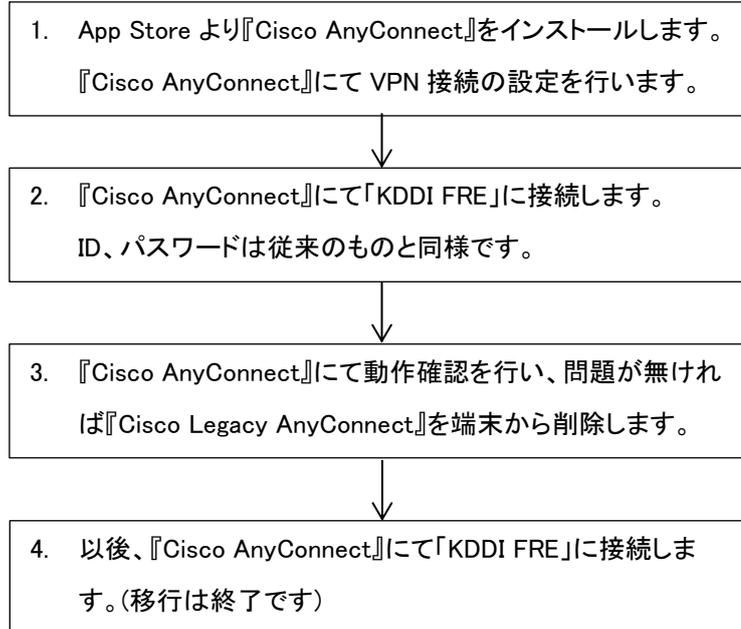
お客さまのご契約内容および移行方法によって以下の通りに手順が異なります。お客さまがどの方法によって移行するかは管理者さまからのご案内に従ってください。また、該当する方法の章をご参照ください。

No	証明書利用	移行方法	該当の章
1	なし(ID認証のみ)	AnyConnectアプリケーションの取得	<a href="#">第2章</a> (p.3～)
2	あり(証明書認証利用)	新規に証明書をインストール。動作確認後、旧来の証明書とアプリケーションを削除	<a href="#">第3章</a> (p.9～)
3	あり(証明書認証利用)	既存の構成プロファイルを更新(上書き)	<a href="#">第4章</a> (p.22～)

## 2 証明書をご利用されていないお客さまの移行手順

### 2.1 移行手順概要

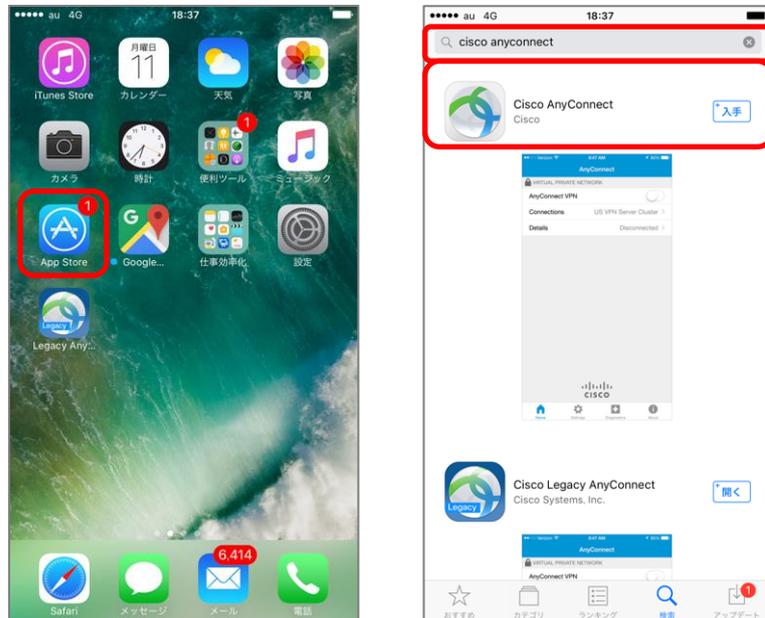
全体の移行手順は以下の流れとなります。



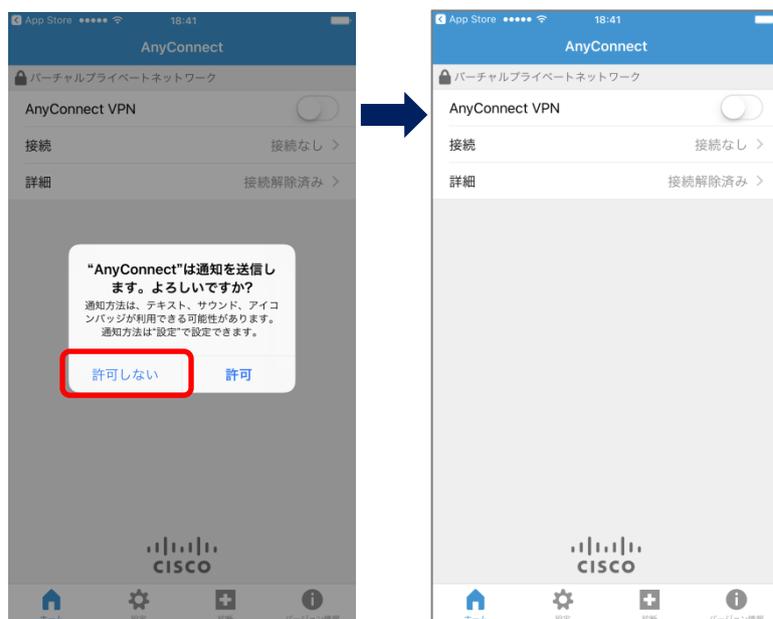
## 2.2 移行手順詳細

### 2.2.1 『Cisco AnyConnect』のインストール・VPN 接続設定

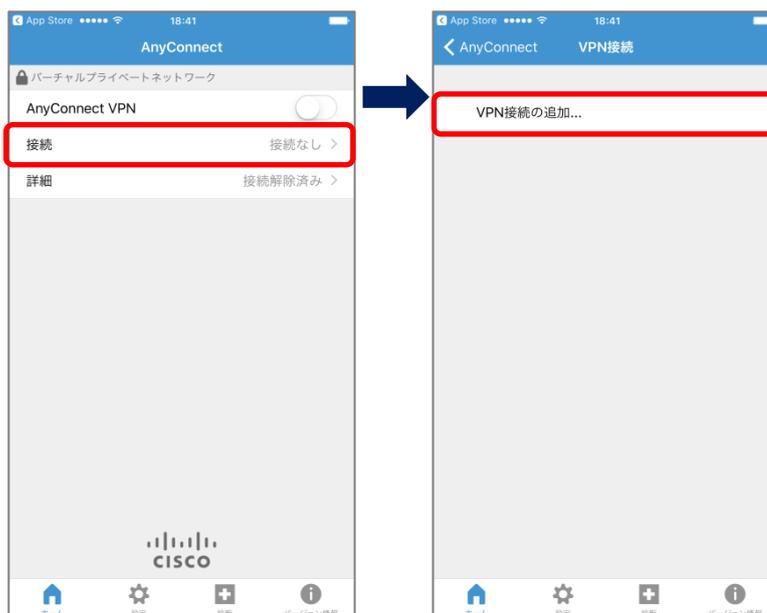
- ① App Storeより『Cisco AnyConnect』を検索してインストールします。(従来の『Cisco Legacy AnyConnect』のアップデートでは『Cisco AnyConnect』はインストールできませんので、新規にインストールします) ※App Storeの利用にはApple IDが必要です。



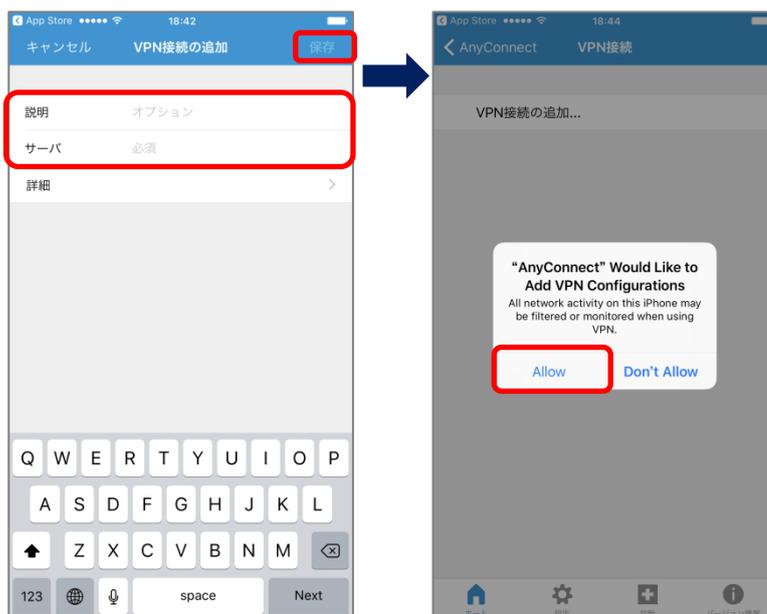
- ② インストール完了後、『開く』をタップして『Cisco AnyConnect』を起動します。『“AnyConnect”は通知を送信します。よろしいですか?』のメッセージに【許可しない】をタップします。



- ③ 『Cisco AnyConnect』にVPN接続の設定を行います。【接続】より、【VPN接続の追加】をタップします。

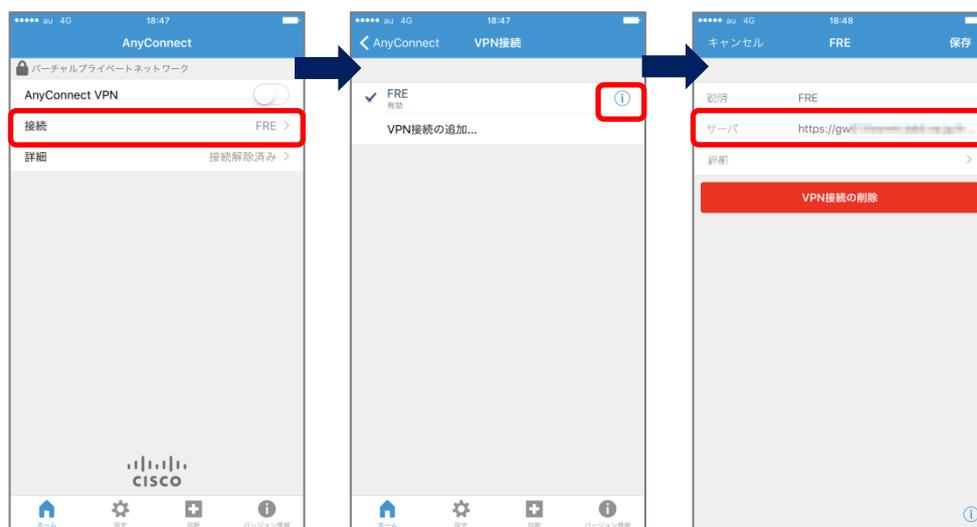


- ④ VPNの接続情報を入力します。【サーバ】はお客さまの「KDDI FRE」の接続先URLを入力します。入力が完了したら【保存】をタップします。【保存】をタップ後に『“AnyConnect” Would Like to Add VPN Configurations』のメッセージが出た場合は、【Allow】をタップします。



VPN接続の追加画面	
説明	任意の名称を入力します
サーバ	「KDDI FRE」接続先URLを入力します。証明書認証をご利用でないので、URLはサフィックス名を含んだ (https://gwXX....jp/XXX_XXX)形式での入力となります。

(【サーバ】の入力情報が不明な場合は、『Cisco Legacy AnyConnect』での現在の記載情報と同じ値を入力します。『Cisco Legacy AnyConnect』から該当の「KDDI FRE」を選択して【i】マークをタップすると、現在設定されている【サーバ】情報を確認できます。)

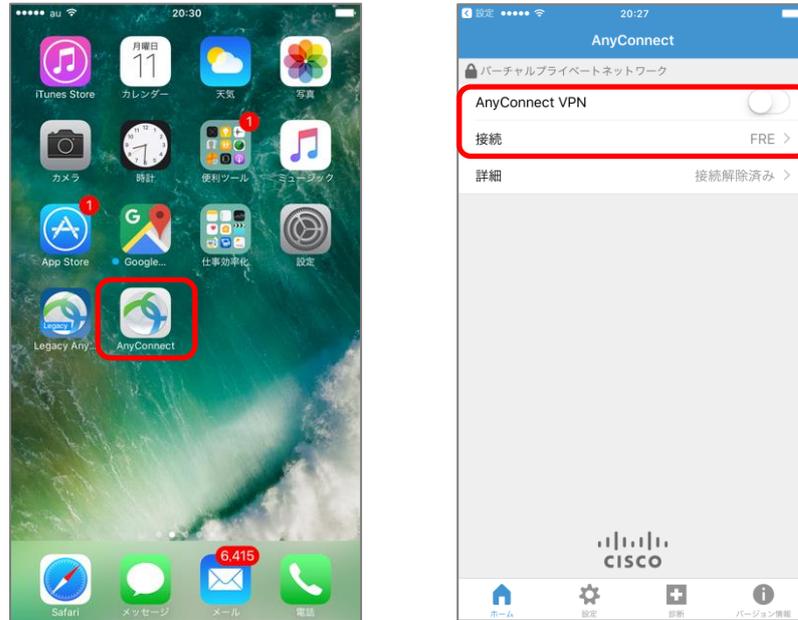


- ⑤ 作成した設定がエントリとして【接続】に表示されます。以上で『Cisco AnyConnect』のインストールから設定は完了です。

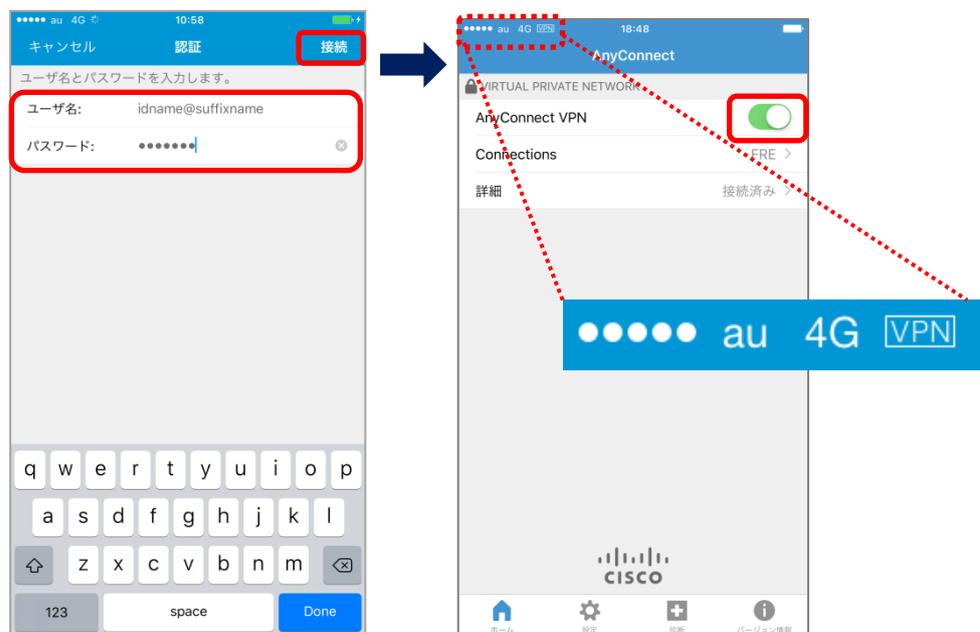


## 2.2.2. 『Cisco AnyConnect』での「KDDI FRE」への接続

- ① 『Cisco AnyConnect』を起動し、先ほど作成したVPNのエントリが【接続】に表示されていることを確認して【AnyConnect VPN】を【ON】にします。

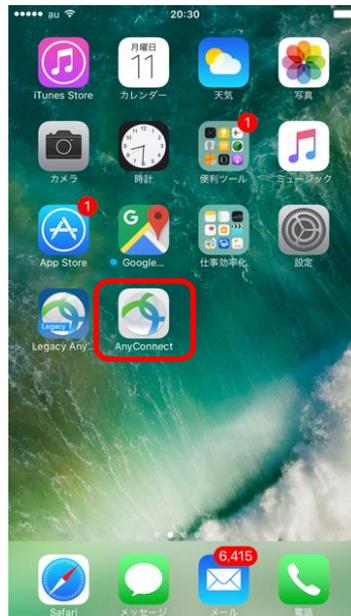


- ② 【ユーザ名】と【パスワード】は、従来ご利用のものを入力します。（管理者さまより指定されたものです。ユーザ名は『@』を含むメールアドレス形式となります。）入力完了後、【接続ボタン】をタップします。接続が完了すると、【AnyConnect VPN】がグリーン表示になり、**VPN** と表示されます。



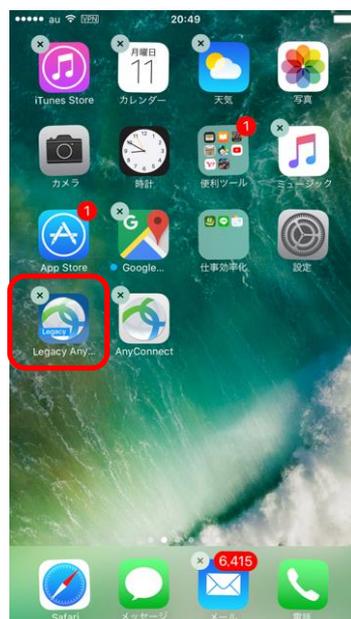
### 2.2.3. 『Cisco AnyConnect』での動作確認と『Cisco Legacy AnyConnect』の削除

- ① 『Cisco AnyConnect』でVPN接続ができれば、お客さまご利用のアプリケーションなどで動作確認を行ってください。接続などに問題がある場合は管理者さまへご相談ください。



- ② 『Cisco AnyConnect』で問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』を削除します。以後『Cisco AnyConnect』にてご利用ください。

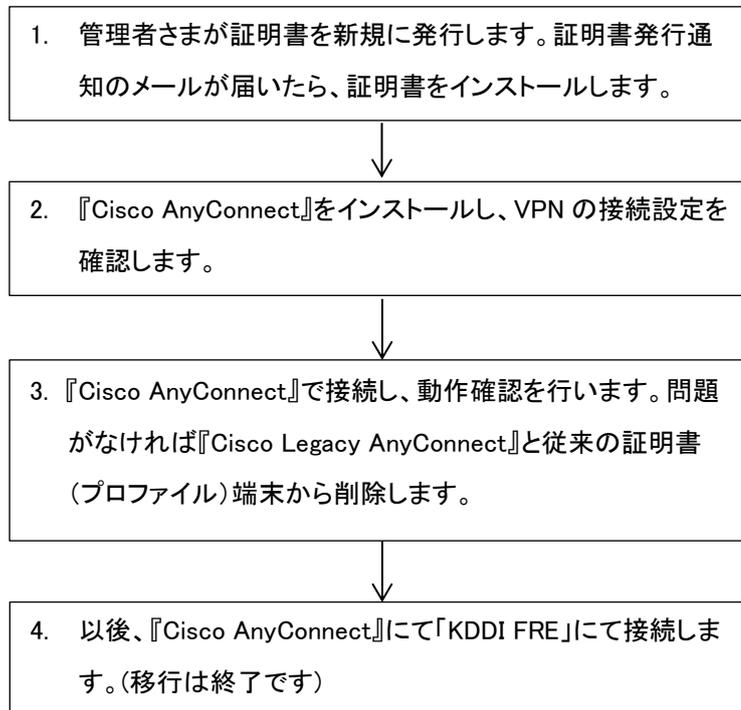
※アプリケーションの移行は完了となります。



### 3 証明書をご利用しているお客さま / 証明書を新規でインストールされる場合の移行手順

#### 3.1 移行手順概要

管理者さまが『Cisco AnyConnect』用の証明書を発行し、それをインストールした後、従来ご利用の『Cisco Legacy AnyConnect』と証明書を削除します。全体の移行手順は以下の流れとなります。



## 3.2 移行手順詳細

### 3.2.1 『Cisco AnyConnect』用の証明書の新規発行・インストール

- ① 管理者さまが証明書を発行すると、証明書発行通知のメールが届きます。

件名	サイバートラスト デバイスID発行のお知らせ
発信元	no-reply@deviceid.kddi.ne.jp (または管理者さま指定アドレス)

- ② 証明書発行通知メールに記載された手順1のURLにアクセスし、『サイバートラスト デバイスID認証局証明書』をインストールします。

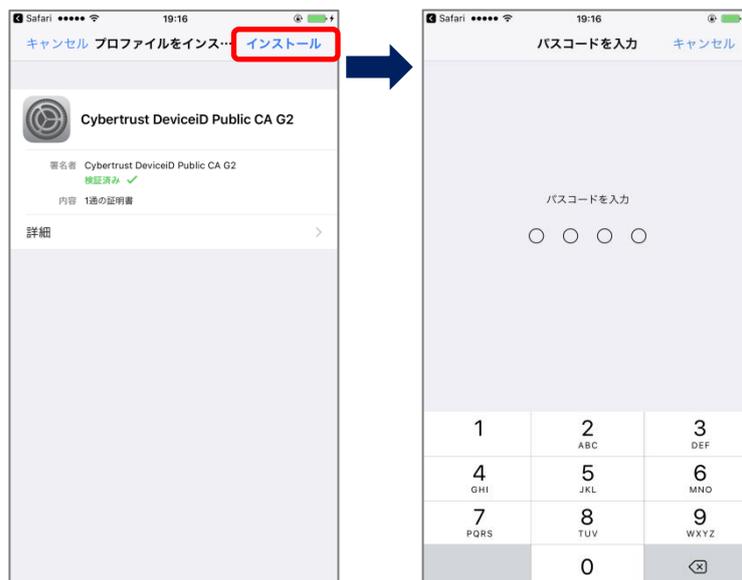
手順1：  
iPhoneまたはiPadで以下のURLにアクセスしてデバイスID認証局証明書をインストールしてください。  
※パスコードを設定している場合、途中でパスコード入力を求められます。  
※デバイスID認証局証明書のインストール完了後、このメールに戻り、手順2に進んでください。  
<https://www.cybertrust.ne.jp/deviceid/g2.crt>

- ③ 『このWebサイトは“設定”を開いて構成プロファイルを表示しようとしています。許可しますか？』のメッセージに【許可】をタップします。

このWebサイトは“設定”を開いて構成プロファイルを表示しようとしています。許可しますか？

無視 **許可**

- ④ 【インストール】をタップし、認証局証明書(ルート証明書)のインストールを開始します。パスコードを求められた場合は入力します。

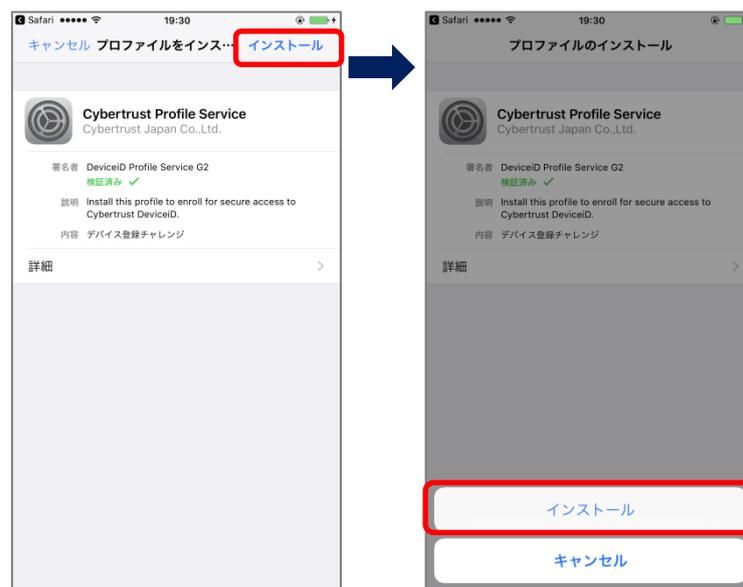




- ⑦ 『このWebサイトは“設定”を開いて構成プロファイルを表示しようとしています。許可しますか？』のメッセージに【許可】をタップします。



- ⑧ プロファイルインストール画面が表示されます。『インストール』をタップし、プロファイルのインストールを開始します。パスコードを求められた場合は入力します。



- ⑨ 『警告』画面が表示されます。(画面はVPN設定が記載された構成プロファイルの例) 『インストール』をタップします。

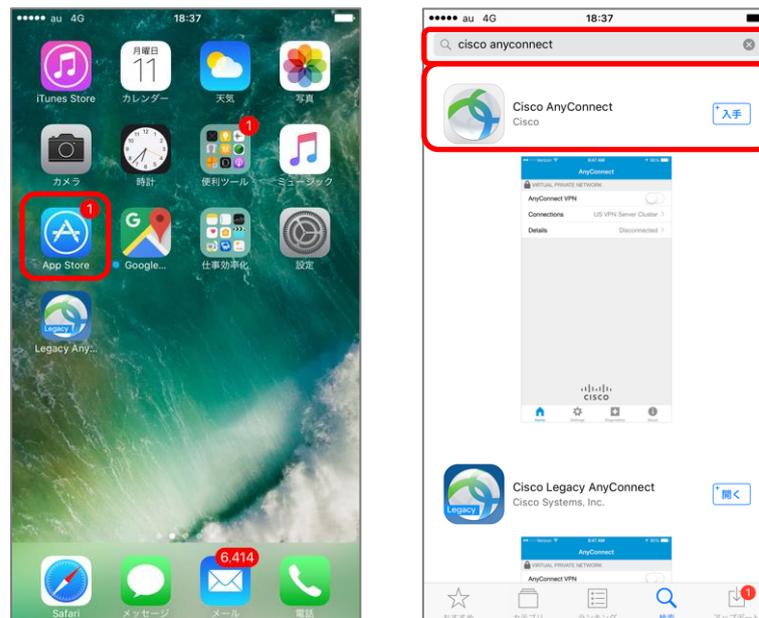


- ⑩ 『インストール完了』の画面が表示されたら【完了】をタップします。証明書(構成プロファイル)のインストールは完了です。

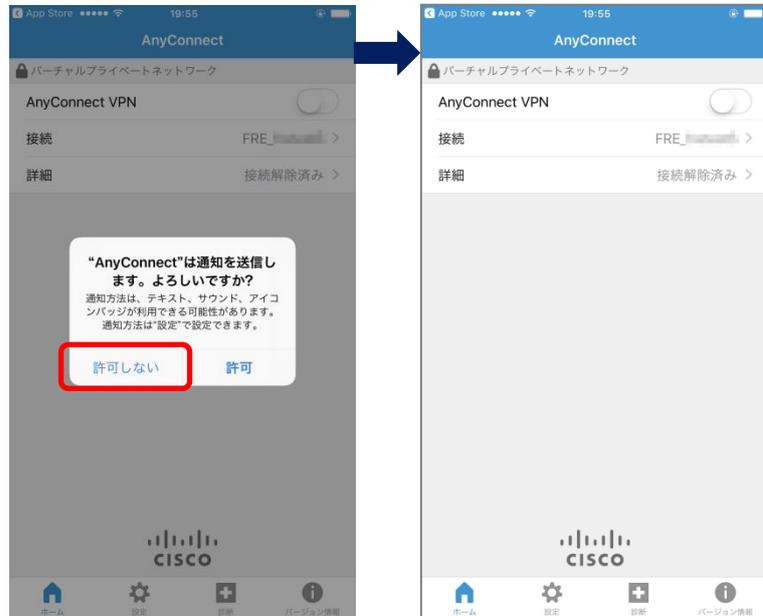


### 3.2.2 『Cisco AnyConnect』のインストール

- ① App Storeより『Cisco AnyConnect』を検索してインストールします。(従来の『Cisco Legacy AnyConnect』のアップデートでは『Cisco AnyConnect』はインストールできませんので、新規にインストールします) ※App Storeの利用にはApple IDが必要です。

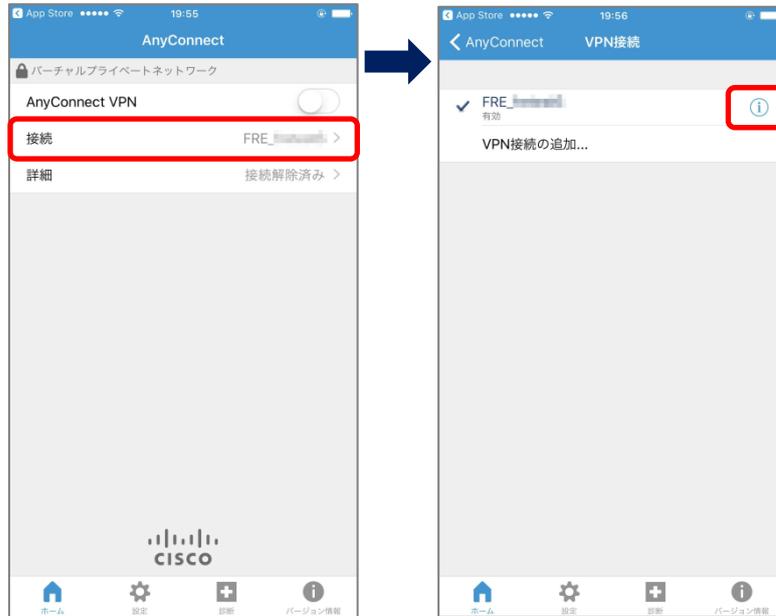


- ② インストール完了後、『開く』をタップして『Cisco AnyConnect』を起動します。『”AnyConnect”は通知を送信します。よろしいですか?』のメッセージに【許可しない】をタップします。【接続】には『FRE\_(お客さまサフィックス名)』のエントリが自動で作成されています。



③ <参考: 証明書の確認の仕方>

『Cisco AnyConnect』にて認識している証明書の共通名を確認します。『接続』にエントリされている名称をタップし、次の画面で【i】マークをタップします。



④ <参考: 証明書の確認の仕方>

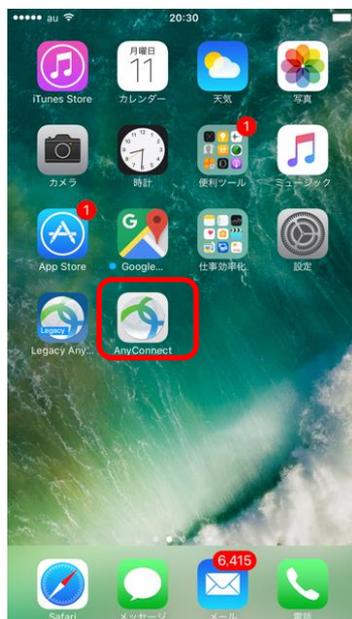
【詳細】をタップします。【証明書】に表示されている値が、『Cisco AnyConnect』が認識している証明書の共通名となります。(xxxx@サフィックス名形式)



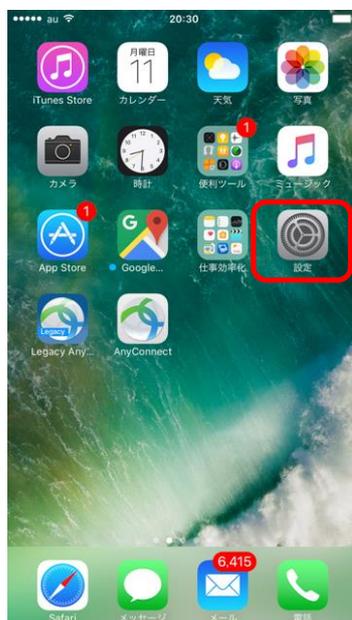
### 3.2.3 『Cisco AnyConnect』での動作確認と旧証明書の削除

- ① 『Cisco AnyConnect』でVPN接続ができれば、お客さまご利用のアプリケーションなどで動作確認を行ってください。接続などに問題がある場合は管理者さまへご相談ください。

もし『Cisco AnyConnect』で「KDDI FRE」に接続できない場合は、一時的に代替として『Cisco Legacy AnyConnect』で接続できるか？ご確認ください。



- ② 『Cisco AnyConnect』で問題がなければ、従来利用していた証明書(プロファイル)を端末から削除します。『設定』を起動します。  
※削除する証明書(プロファイル名)は予め管理者さまよりご確認をお願いします。

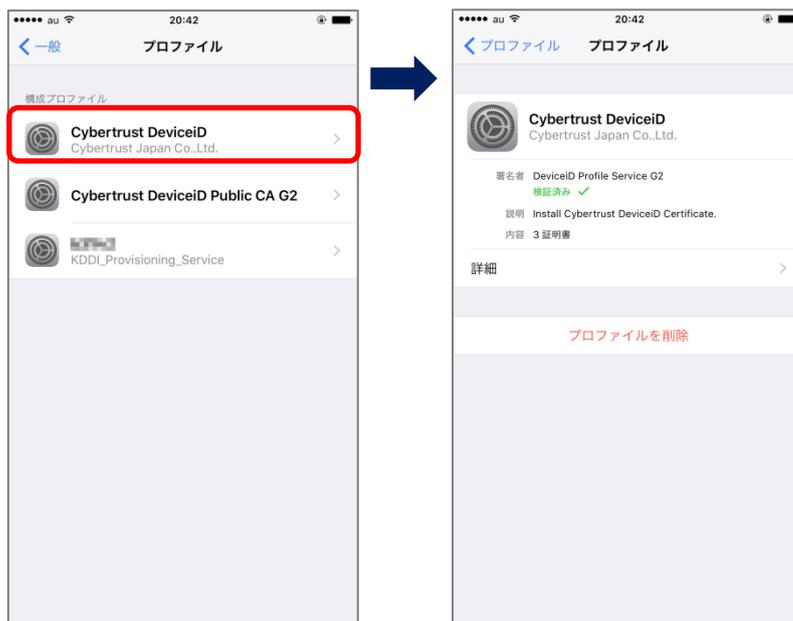


- ③ 【一般】をタップします。次に【プロフィール】をタップします。

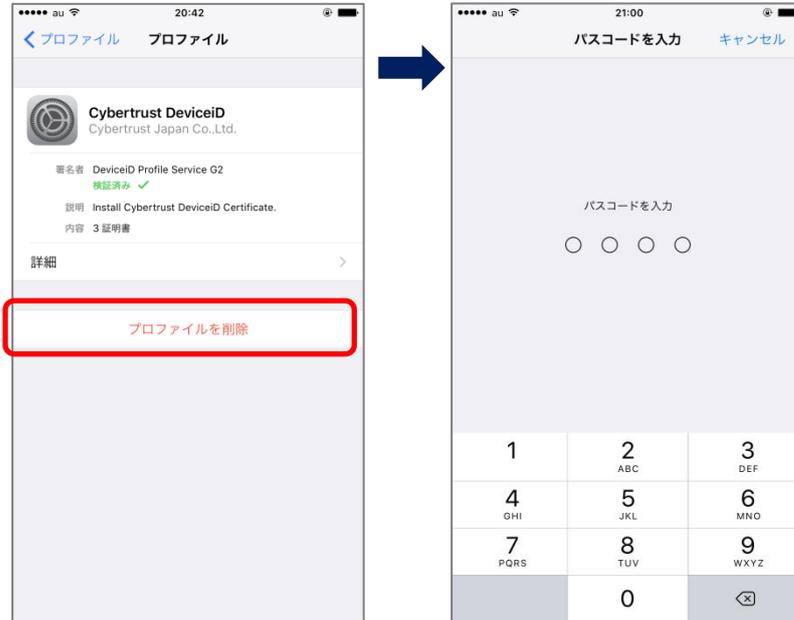


- ④ プロファイルとして登録されているものが表示されます。『Cybertrust DeviceID』がある場合は、それを選択します。無い場合は、【プロフィールの一覧に『Cybertrust DeviceID』が無いお客さま】へ進んでください。

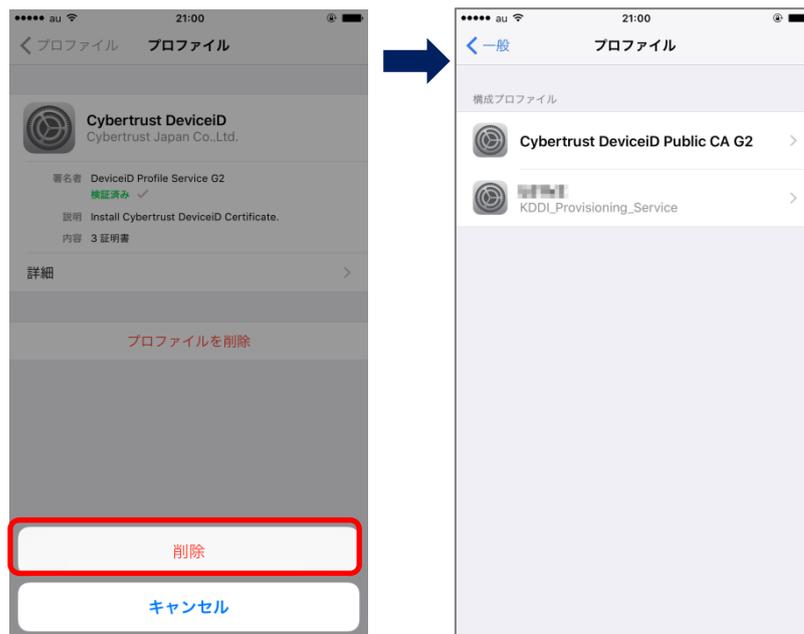
**※管理者さま指定のものがある場合は、そのプロフィールを削除してください。**



- ⑤ 【プロフィールを削除】をタップします。パスワードを求められたら入力します。



- ⑥ 【削除】をタップします。プロフィールの一覧から『Cybertrust DeviceID』が削除されます。以上で従来のプロフィールの削除は完了です。

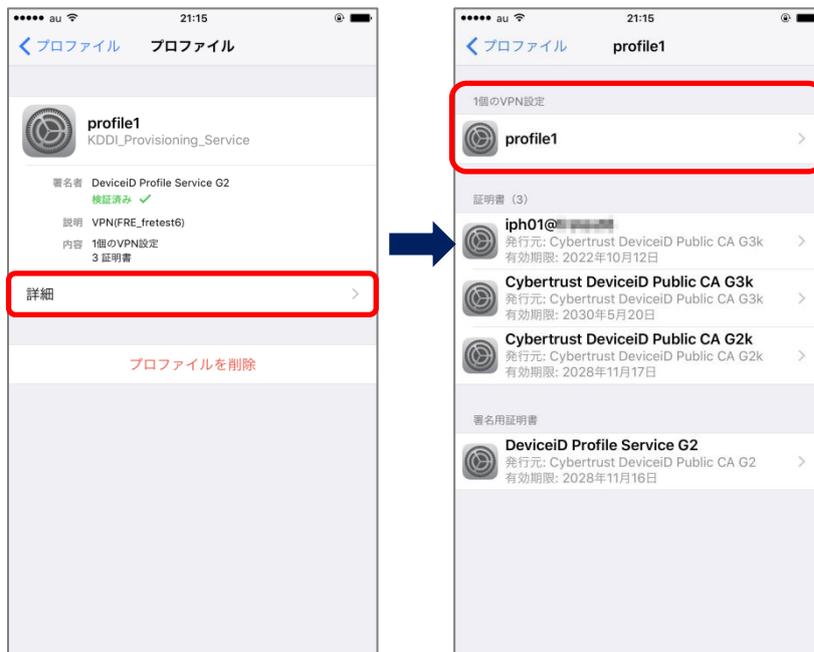


【プロフィールの一覧に『Cybertrust DeviceID』が無いお客さま】

※『プロフィール』の一覧から『KDDI\_Provisioning\_Service』というものが2つあります。そのうち、『1個のVPN設定』が1つだけ**のもの**が従来ご利用のプロフィールとなりますのでこのプロフィールを削除します。『1個のVPN設定』が2つあるものは、今後利用するもの(今回インストールした**もの**)ですので、**削除はしません**。

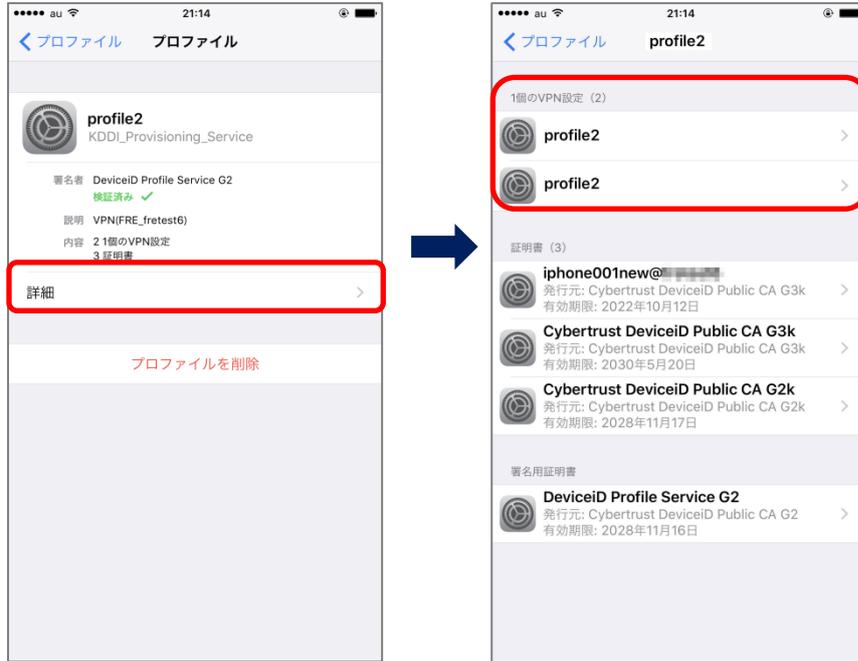


※以下の例(profile1)では、『1個のVPN設定』が1つだけなので、削除します。削除の際に削除用のパスワードが設定されている場合は、システム管理者さまへお問い合わせください。



※以下の例(profile2)では、『1個のVPN設定』が2つあるので、新しいプロファイルとなります。

こちらは削除しないでください。



- ⑦ 最後に『Cisco Legacy AnyConnect』を削除します。以後『Cisco AnyConnect』にてご利用ください。

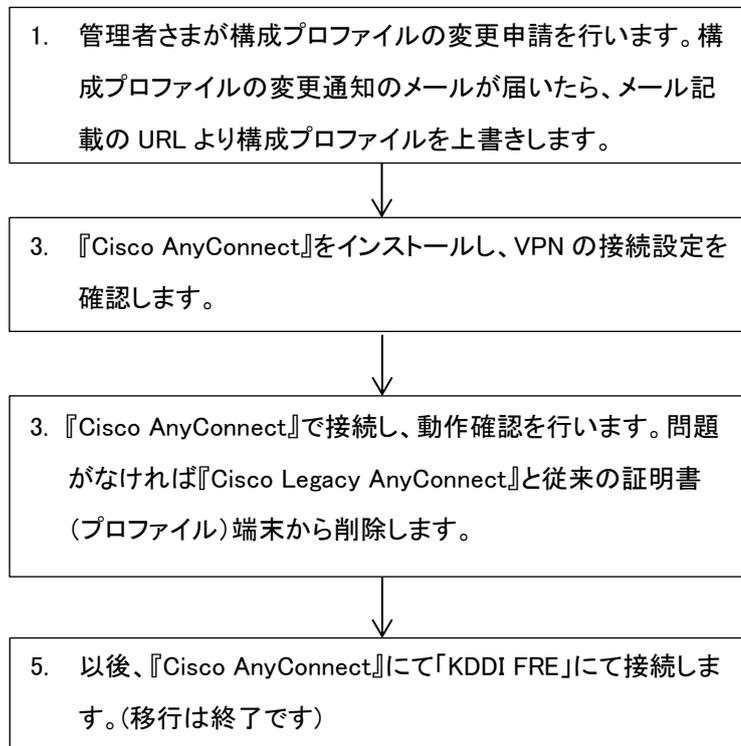
※アプリケーションの移行は完了となります。



## 4 証明書をご利用しているお客さま / 構成プロファイルを上書きする場合の移行手順

### 4.1 移行手順概要

管理者さまが『Cisco AnyConnect』用の証明書を発行し、それをインストールした後、従来ご利用の『Cisco Legacy AnyConnect』と証明書を削除します。全体の移行手順は以下の流れとなります。



## 4.2 移行手順詳細

### 4.2.1 構成プロファイルの変更

- ① 管理者さまが構成プロファイルの変更を行うと、変更通知のメールが届きます。

件名	サイバートラスト デバイスID 構成プロファイル変更のお知らせ
発信元	no-reply@deviceid.kddi.ne.jp

- ② 構成プロファイル変更のお知らせに記載された手順のURLにアクセスし、『サイバートラスト デバイスID』をインストールします。

差出人: no-reply@deviceid.kddi.ne.jp > 宛先: [redacted] 隠す

**サイバートラスト デバイスID 構成プロファイル変更のお知らせ**  
今日 8:50

KDDI株式会社の申請により、構成プロファイルが変更されました。  
以下の手順に従い、デバイスIDをインストールしてください。

デバイスIDは本メールの送信から7日を経過するとインストールできなくなります。  
お早めのインストールをお願いいたします。  
本メールの送信から7日を経過した場合は、管理者へお問い合わせください。

※下記の手順で、ブラウザは Safari をお使いください。

手順：  
iPhoneまたはiPadで以下のURLにアクセスしてデバイスIDをインストールしてください。  
※パスコードを設定している場合、途中でパスコード入力を求められます。  
[https://cybertrust.deviceid.ne.jp/iPhoneOTA/do/start?sd=DiDk&reqID=\[redacted\]=im&ps=\[redacted\]](https://cybertrust.deviceid.ne.jp/iPhoneOTA/do/start?sd=DiDk&reqID=[redacted]=im&ps=[redacted])

※プロファイルのインストールに失敗した場合（プロファイルの削除を求められた場合）、以下の URL をお試しください。  
[https://cybertrust.deviceid.ne.jp/iPhoneOTA/do/start?sd=DiDk&reqID=\[redacted\]=im](https://cybertrust.deviceid.ne.jp/iPhoneOTA/do/start?sd=DiDk&reqID=[redacted]=im)

デバイスID情報  
リクエストID : [redacted]  
コモンネーム : [redacted]  
シリアル番号 : [redacted]  
証明書有効期間: 2017/[redacted] - 2022/[redacted]

- ③ 『このWebサイトは“設定”を開いて構成プロファイルを表示しようとしています。許可しますか?』のメッセージに【許可】をタップします。

このWebサイトは“設定”を開いて構成プロファイルを表示しようとしています。許可しますか?

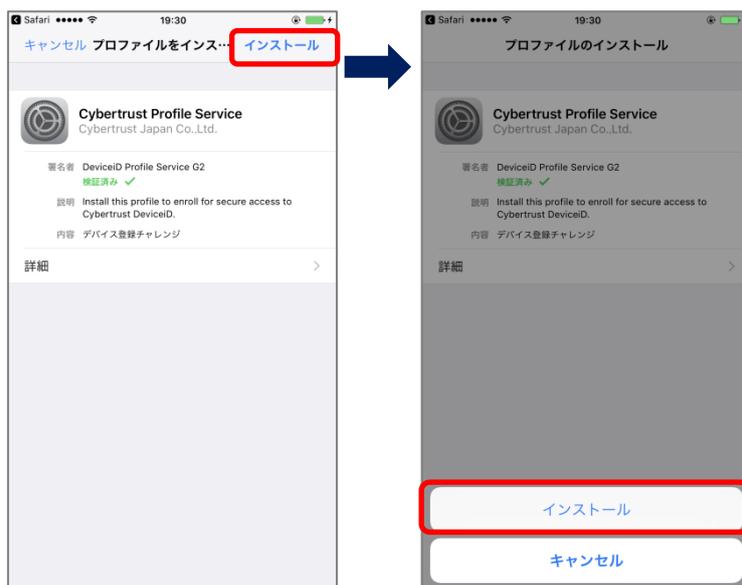
無視 許可

#### 【ご注意】

登録には3分～5分程度かかる場合があります。登録を開始する前に、以下の事項を確認してください。

- 端末が電源につながれている、あるいは端末の電池が十分に充電されていること。
- 電波状態が良い場所であり、また移動中でないこと。

- ④ プロファイルインストール画面が表示されます。『インストール』をタップし、プロファイルのインストールを開始します。パスコードを求められた場合は入力します。



- ⑤ 『警告』画面が表示されます。(画面はVPN設定が記載された構成プロファイルの例) 『インストール』をタップします。

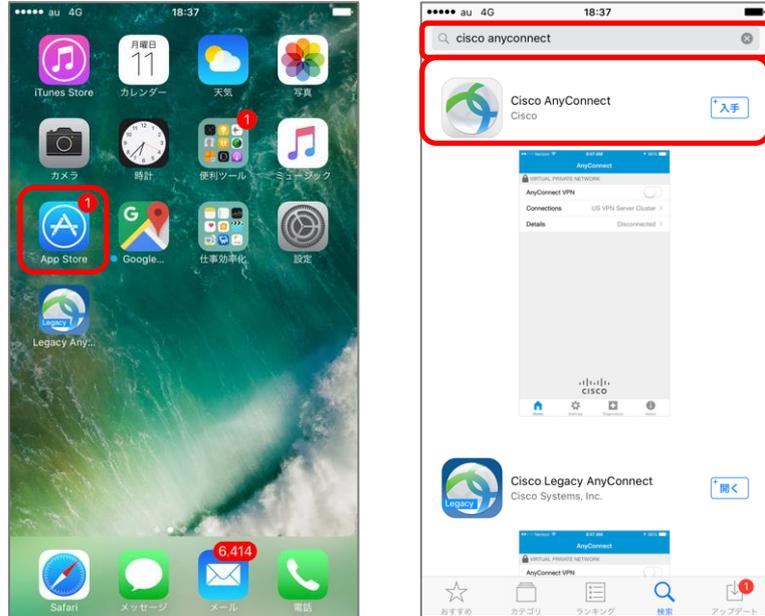


- ⑥ 『インストール完了』の画面が表示されたら【完了】をタップします。証明書(構成プロファイル)の構成プロファイルの変更は完了です。

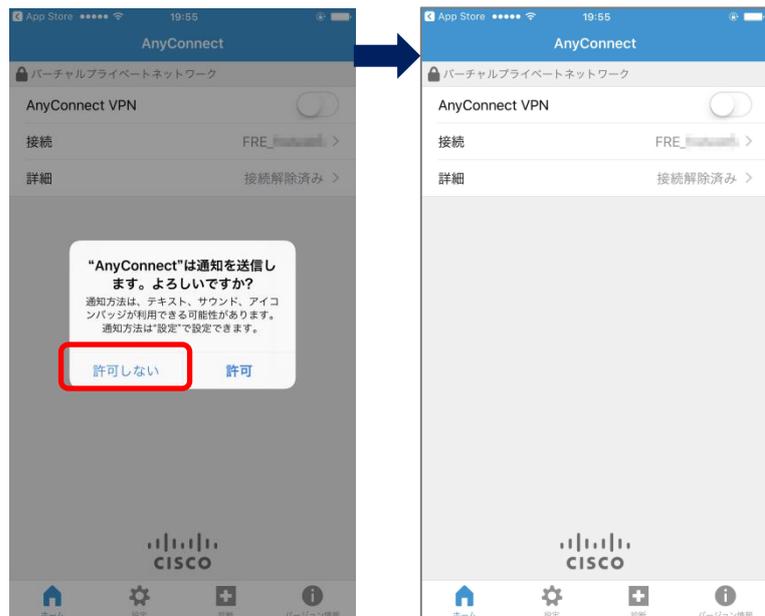


## 4.2.2 『Cisco AnyConnect』のインストール

- ⑤ App Storeより『Cisco AnyConnect』を検索してインストールします。(従来の『Cisco Legacy AnyConnect』のアップデートでは『Cisco AnyConnect』はインストールできませんので、新規にインストールします) ※App Storeの利用にはApple IDが必要です。

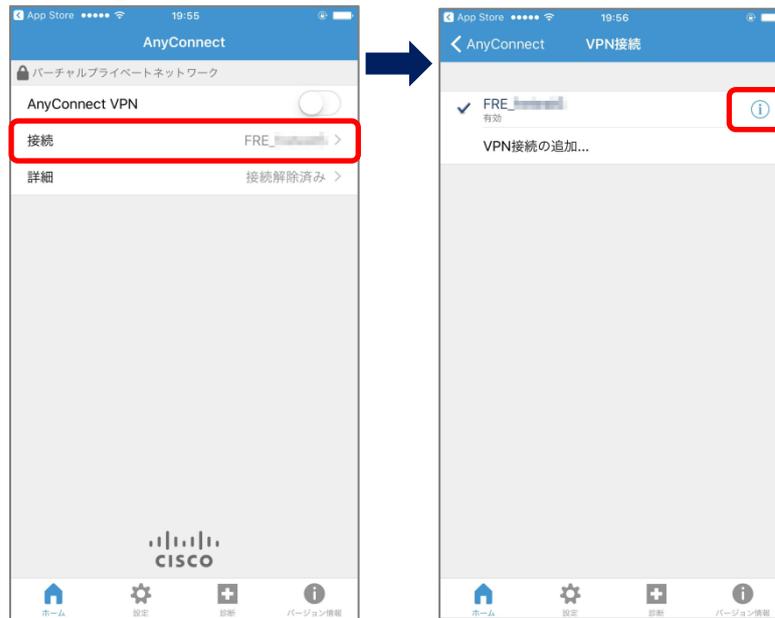


- ⑥ インストール完了後、『開く』をタップして『Cisco AnyConnect』を起動します。『"AnyConnect"は通知を送信します。よろしいですか?』のメッセージに【許可しない】をタップします。【接続】には『FRE\_(お客さまサフィックス名)』のエントリが自動で作成されています。



⑦ <参考: 証明書の確認の仕方>

『Cisco AnyConnect』にて認識している証明書の共通名を確認します。『接続』にエントリされている名称をタップし、次の画面で【i】マークをタップします。



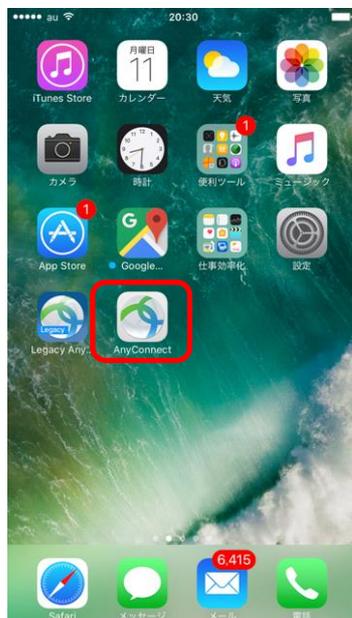
⑧ <参考: 証明書の確認の仕方>

【詳細】をタップします。【証明書】に表示されている値が、『Cisco AnyConnect』が認識している証明書の共通名となります。(xxxx@サフィックス名形式)



#### 4.2.3 『Cisco AnyConnect』での動作確認と『Cisco Legacy AnyConnect』の削除

- ① 『Cisco AnyConnect』でVPN接続ができれば、お客さまご利用のアプリケーションなどで動作確認を行ってください。接続などに問題がある場合は管理者さまへご相談ください。



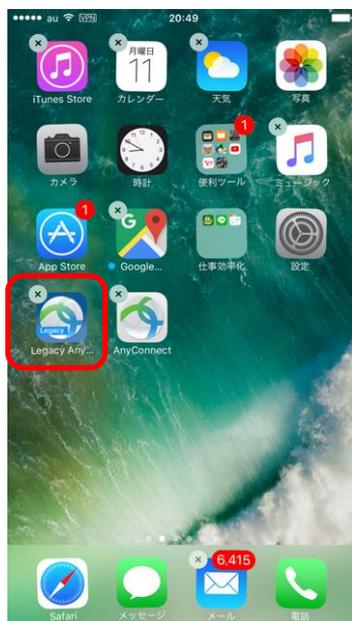
もし『Cisco AnyConnect』で「KDDI FRE」に接続できない場合は、一時的に代替として『Cisco Legacy AnyConnect』で接続できるか？ご確認ください。

※ 構成プロファイルの変更後、『Cisco Legacy AnyConnect』上のVPNエントリ名は、『Legacy\_(お客さまサフィックス名)』に更新されておりますのでそれを選択してください。



- ② 最後に『Cisco Legacy AnyConnect』を削除します。以後『Cisco AnyConnect』にてご利用ください。

※アプリケーションの移行は完了となります。



以上

KDDI株式会社

## 改版履歴

- |               |      |                          |
|---------------|------|--------------------------|
| ◆2017年 9月 20日 | v1.0 | リリース                     |
| ◆2018年 7月 1日  | v1.1 | Legacy AnyConnect について追記 |
| ◆2019年 9月 10日 | v1.2 | iPadOS について追記            |